



ゼンリンの関連会社「ジオ技術研究所」が開発したスーパーリアリティ! 3Dデジタル地図は、建物の壁面テクスチャ、出入り口や駐車場、看板まで含めた外観や、方面案内などの道路標識まで表示し、街並みをリアルに再現した、豊富な情報量が特長です。

GEMPLANETの導入で

決算の早期化によるスピード経営を実現

株式会社ゼンリン

多様化する顧客ニーズ、グローバルな企業間競争など、市場がめまぐるしく変化する現在、さまざまな環境に柔軟に対応できるスピード経営と、経営資源の全体最適化を実現するには、基幹業務を統合し、経営情報を一元的に管理するERP(Enterprise Resource Planning)の導入が不可欠です。

そこで地図業界のリーディングカンパニーを目指す株式会社ゼンリンは、日立のERPパッケージ「GEMPLANET」を導入。全社レベルでの情報一元化と柔軟な情報活用基盤を整備し、決算の早期化や業務効率の向上、経営判断のスピードアップを実現しました。

IT社会に欠かせない 地図情報インフラの担い手

福岡県北九州市に本社を構える株式会社ゼンリン(以下ゼンリン)は、1948年の創業以来、日本全国を網羅した詳細な住宅地図出版事業を展開。他の追従を許さない地図作成のノウハウと経験、優れた製品開発力をベースに、名実ともに地図業界のリーディングカンパニーとしての地位を保ち続けています。



管理本部 情報システム部 部長

津留 義信 氏

またパソコンやインターネットの普及といった市場環境の変化にもいち早く対応し、GIS(地理情報システム)、ITS(高度道路交通

システム)などで幅広く活用される電子地図データベースを自社開発。パソコン用地図ソフト、カーナビゲーション用地図ソフトの制作、携帯電話向け地図配信サービスなど、これからのIT社会に欠かせない地図情報インフラの担い手として、日本だけでなく欧州、米国、中国にも現地法人を設立し、グローバルな事業展開を図っています。

同社では2000年、IT時代に対応した情報システムの再構築と、情報基盤整備によるスピード経営の実現を図るため、社内にERP導入プロジェクトチームを設置。これまで業務別に分かれていた基幹システムを統合化するERPシステムの選定作業を開始しました。

「当社の事業の新たな柱である電子地図やナビゲーションソフトの分野では、参入企業の拡大によって競争が激化しており、経営トップに対するリアルタイムな情報提供や、営業・マーケティング力の強化、原価計算制度の再構築などが重要な課題となっています。」



株式会社ゼンリン

本社 / 福岡県北九州市小倉北区室町1-1-1
リバーウォーク北九州

創業 / 1948年(昭和23年)4月

資本金 / 5,965,168,000円(2003年3月末現在)

代表取締役 会長 / 中村弘治

代表取締役 社長 / 原田 康

従業員数 / 1,824名(2003年3月末現在)

事業内容 / 住宅地図情報を基盤として各種
地図の企画・出版および各種電子
地図データベースの企画・制作を
主な事業とし、かつ、これに付帯また
は関連するソフトウェア開発・情報
サービス事業

ホームページ / <http://www.zenrin.co.jp/>

株式会社ジオ技術研究所

本社 / 福岡市博多区祇園町1番1号
博多祇園ビル5F

設立 / 2001年8月1日

資本金 / 200,000,000円

株主 / 株式会社ゼンリン 100%

事業内容 / ・3D地図 3Dデータの調査製造販売
・立体映像技術の研究、開発なら
びに製造販売業務

ホームページ / <http://www.geogiken.co.jp/>



リバーウォーク北九州内に本社を置く「ゼンリン」

また、今まで以上にIR(Investor Relation)を重視した経営を推進していくためには、株主や投資家の皆さまに対して正確な経営情報をスピーディに発信していく仕組みも必要です。こうした新たな事業戦略の実現には、決算の早期化による迅速な意思決定と、的確な情報公開を可能とするERPシステムの導入が不可欠です。そこで、さまざまなERPパッケージの機能やコストメリットを検討した結果、当社に最適な基盤と判断したのが、日立さんのGEMPLANETでした」

(管理本部 情報システム部 部長 津留義信氏)

決算処理を大幅に短縮

日本企業になじみやすい機能と充実したサポートで、スピーディな業務実行環境と全体最適な管理方式を短期間に実現できるGEMPLANETは、全基幹業務をカバーした充実のラインアップと対話形式の実行メニューにより、さまざまな業務の流れを統一し、リアルタイムなデータ連携が図れる統合業務パッケージシステムです。

ゼンリンではERPシステム構築の第1フェーズとして、まずはGEMPLANETのサブシステムの中から「会計管理」「人事管理」「労務管理」を導入。「原価管理」は手作りし、「勤怠管理」には、GEMPLANETと親和性の高い「LYSITHEA(リシテア) (株式会社日立システムアンドサービスの就業情報管理システム)を適用し、人事管理、労務管理、原価管理と連携させ2002年10月から順次本番稼働を果たしました。

「まずは本社内と各営業所に分散していた財務・人事面でのデータを一元管理しようというのが、第1フェーズのコンセプトです。これまでは、各営業所でも入力していた伝票情報をオフラインで本社に集め、バッチ処理したり、再入力する作業が発生していましたが、GEMPLANETの導入により、すべてオンラインでリアルタイム処理できるようになりました。これにより、今までは翌月中旬



管理本部 情報システム部 マネージャー

小森 孝史 氏



自席の端末から柔軟に使えるGEMPLANETの初期画面。データウェアハウスを活用した分析業務は、日立の多次元データ分析システムHITSENSERが担っている



GEMPLANETの初期画面例

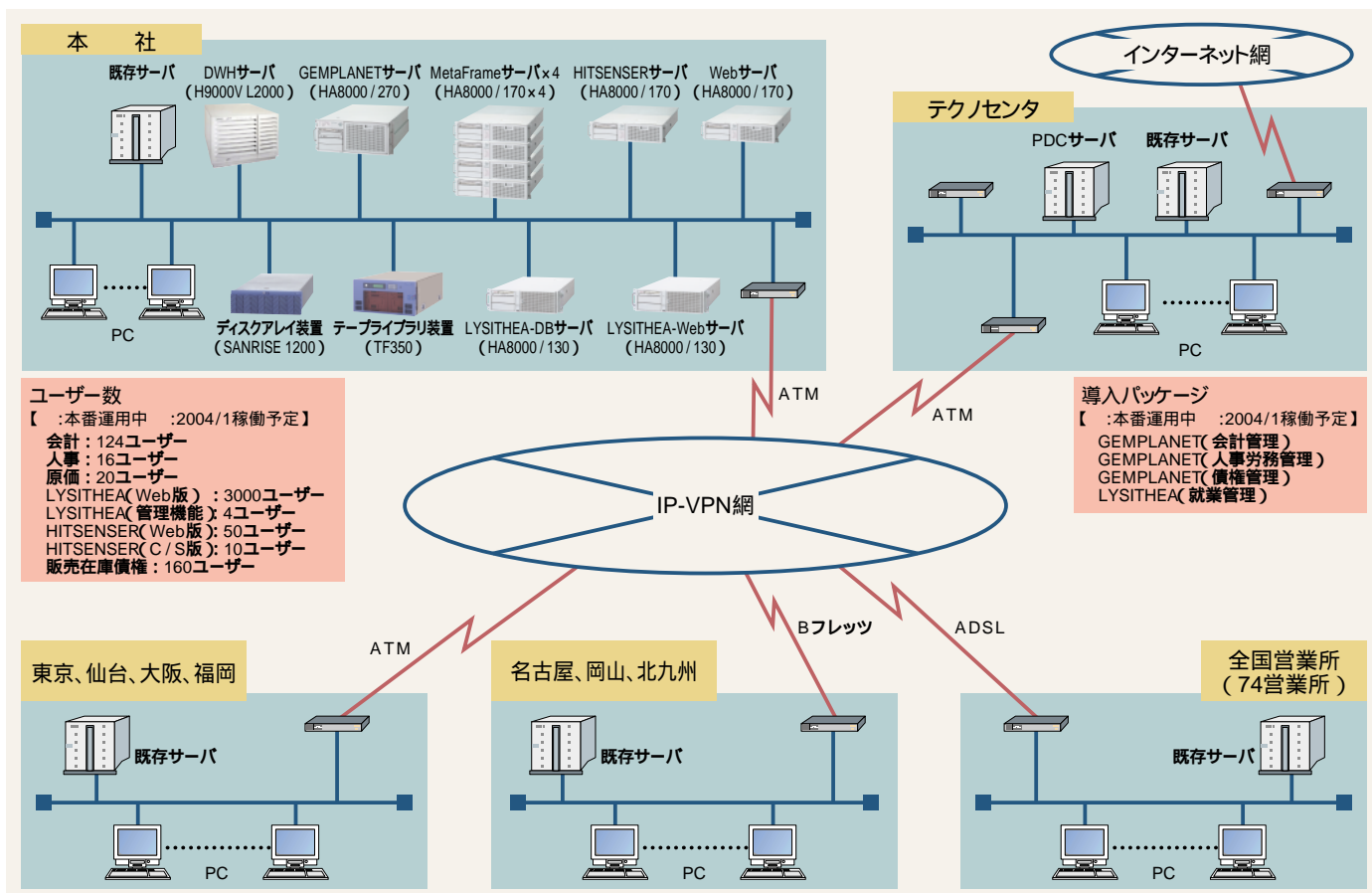
でないとできなかった月次締め処理が、月末から4営業日で行えるようになり、四半期決算、月次決算への対応も含めた決算の早期化に、大きなメリットが生まれました。

また、総勘定元帳などの各種データも、従来ならリクエストに応じて本社で出力し、営業所に配布する作業が発生していましたが、今ではそれぞれの端末からGEMPLANETサーバにアクセスし、柔軟にデータ活用できる環境が整いました。各人がデータを予算管理や営業活動用に二次加工する際にも、再入力の手間がなくなると非常に好評です」

(管理本部 情報システム部 マネージャー 小森孝史氏)

全国に広がる営業所の端末総数は膨大な数にのぼるため、ゼンリンではGEMPLANETサーバ上のアプリケーションをWebブラウザ経由でも実行できるMetaframeを導入。これにより、各クライアントにプログラムをインストールすることなく、バーチャルなGEMPLANET端末として活用できるようになり、運用管理コストの大幅な軽減と、マシン性能やネットワーク速度に左右されない快適な動作環境を実現しています。

Citrix社が提供するServer-Based Computingソフトウェア。日立はCitrix認定システムインテグレーターとして正式契約。「Metaframe問い合わせサービス」などのサポートサービスを提供している。
<http://www.hitachi.co.jp/metaframe>



ゼンリンネットワーク構成図

S P O T - N O W



GEMPLANETサーバ(HA8000)、DWHサーバ(H9000V)、Metaframeサーバ(HA8000)などを納めたサーバラック群

販売・在庫・債権管理システムも構築中

人事・労務面においても、GEMPLANETとLYSITHEAの導入により、情報の一元管理と処理スピードの大幅な向上を実現。個人の経歴やスキルを詳細に検索できる機能により、戦略的な人事をサポートしたり、従来は一人ひとりに配付していた給与明細書をPDF化してメール配信するパッケージを活用したりと、業務効率の向上と、経営に貢献する情報の抽出に大きな効果を上げています。

「現在はフェーズ2として、GEMPLANETを適用した債権管理システムと販売・在庫管理システムを開発中です。そして、これらのシステムが本番稼働する2004年1月の段階で、初めてERP導入プロジェクトの第一段階が完了することになります。

情報活用の面では、多次元データ分析システムHITSENSERなどを活用し、経営層への戦略的な情報提供やIR活動の支援に一定の成果を上げつつありますが、今後は基幹データと、膨大な顧客データ、コールセンターのデータなども相互にリンクさせながら、よりスピーディな営業戦略、経営戦略に直結させる仕組みを作っていければと考えています」 (津留氏)

さらに、「業務間・拠点間のデータをシームレスかつリアルタイムに統合するGEMPLANETの導入により、今後は各営業所でのきめ細かな予算管理や各人のコスト意識の向上も期待できる」と語る小森孝史マネージャー。

“見るべき人が、見るべき時に、見るべき視点で”分析できる「情報統合化」を指向したERP導入プロジェクトの進展により、これからもゼンリンは、無限の可能性を秘めた電子地図関連ビジネスで、新たな地平を切り開いていくに違いありません。

お問い合わせ先

(株)日立製作所 九州支社 北九州支店 情報システム第1グループ
担当：古賀
TEL(093)533-5500(代) FAX(093)533-5505
E-Mail:t.koga@gm.kyushu.hitachi.co.jp

GENPLANET情報提供サービス
<http://www.hitachi.co.jp/Prod/comp/app1/gemplanet/>



体験コーナー

ゼンリン「地図の資料館」が開館

株式会社ゼンリンは、2003年7月17日、最高顧問である大迫忍氏が収集した内外の地図を展示母体とした「地図の資料館」を開館しました。場所は、かつて日本全国を歩いて巡り、当時世界最高レベルの測量・編集技術で日本地図を完成させた伊能忠敬(1745～1818)が九州測量の起点とした小倉・紫川にかかる常盤橋のたもと「リバーウォーク北九州」内にあります。ゼンリンは、2003年5月にこの地に本社を移転。

ビル最上階の「地図の資料館」では、伊能忠敬編纂による中図(原寸複製：縦8.8m×横7.7m)のほか、多彩な地図や資料が展示されており、子どもから大人まで、多くの人々に地図に親しんでもらいたいとの同社の熱い想いが伝わってきます。

主な展示物

- ・常設展示室：伊能忠敬編纂中図(原寸複製)他各種地形図、各国の地図帳・教科書、地図原画、古地図ほか
- ・特別展示室：地図に関連するさまざまな企画展を随時実施
- ・体験コーナー：地図に関連する書籍・雑誌・絵本閲覧コーナー、地図に関連する玩具(地形パズルなど)、インターネット閲覧、ゼンリン商品展示

開館時間 / 午前10時～午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日 / 土曜・日曜・祝祭日、年末年始・夏期休業日

入館料 / 大人(高校生以上)100円、小人(中学生以下)無料

場所 / 福岡県北九州市小倉北区室町1-1-1

リバーウォーク北九州14F

TEL(093)592-9082

交通 / JRおよびモノレール小倉駅より徒歩10分



伊能忠敬編纂中図(原寸複製)

オリジナル
地図コンクール作品

